

救急車の適正利用にご協力ください！

「救急車が本当に必要？いいえ、私は自分で病院に行きます」



ダメダメ！こんなじゃ呼んだらいけん！



緊急性のない
軽いケガや症状



入院や通院で病
院に行きたい



タクシーや交通
機関の代わりに



夜間や休日に病
院がわからない



豊後高田市消防本部では、現在、市内に3台の救急車を配置し、24時間市民からの救急要請に対応しています。平成22年中の救急出動件数は、**1,317件**で、**1,247人**の方が救急車で医療機関等に搬送されています。平成21年中と比べると、121件、113人も増加していることとなります。救急出動の中には、かすり傷など明らかに緊急性がない場合や、歩いて救急車に乗り込み家族が自家用車で追ってくる、救急病院がわからない、入院セットを持参したタクシー代わりの救急要請も見受けられます。その一方で、消防署から遠く離れたところへは、救急車が現場に到着するまでに時間が長くなり、1分1秒を争う**生命の危険にある傷病者**への対応が遅れてしまう恐れがあります。

119番に電話して救急車を呼ぶ前に、本当に救急車が必要かどうか、自家用車やタクシーなど他の交通機関が利用できないか、もう1度考えてみましょう。

もちろん、**緊急性があり、本当に救急車が必要な場合は**、迷わず救急車を要請してください。



本当に必要なときは、迷わず要請してください！

夜間や休日などの
救急当番院や医
療情報相談をご
存知ですか？

インターネット

おおいた医療情報ネット

<http://iryō-joho.pref.oita.jp/>

救急当番病院は新聞朝刊に掲載されて
いますが、電話やインターネットでも調べ
ることができます。小児科は電話による相
談窓口を利用することができます。

電話相談

大分県子ども救急電話相談

#8000(097-503-8822)

